



# カウンセラーだより

たじま絆保育園 2019.8・9月号

皆さん、こんにちは。夏休みはどこかへ出かけましたか？これからは連休がありますね。少しでも楽しみやゆったりした時間が流れますように。

さて今回は引き続き職場における人間関係についてお送り致しますが、具体的な話の前にもう一つ大切な知識をお伝えします。

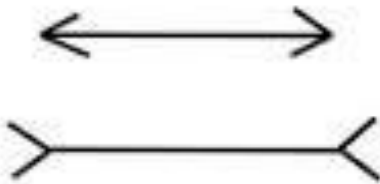


## 「職場における人間関係パートⅢ」

### はじめに

前回のおたよりでは人がいかに色眼鏡を通して他者や出来事を見ているかについて触れました。色眼鏡はどちらかと言えば思考や意識、認知の領域です。しかし今回は、感覚を頼りに「人はいかに間違えやすいか」を感じて頂ければ、少しは謙虚に生きる事が出来るかも！？相手を許せる道筋さえ立てられるかもしれません。とにもかくにも、楽しみながら読み進めて頂ければOKです。

### 錯覚



左から「ミュラーリヤー」「婦人と老婆」「ルビンの杯」です。ミュラーリヤーは、中の線は全く同じ長さですが、上の線の方が短く、下の線の方が長く見えます。そして真ん中の絵は、婦人が遠くを見ている絵に見える一方、老婆がやや下を見ているようにも見えます。最後のルビンの杯は、黒い部分は聖杯に見えますが、白い空間に目を向ければ人が向き合っている絵が見えてきます。

### 終わりに

いかがでしたか？人間は勘違いしやすい生き物なのです！（ただ開き直るのはほどほどに笑）つまり、どこを見ているか？どう見るか？によって感じ方が違うのです。ですが職場も含めて人は、「こっちが正しい！」「いや違う、こっちだ！」とどちらが正しいか論争を時に繰り広げてしまいます。神様はもしかしたら上記の錯覚と同じように「どこをどう見るかの違いなのに...」と人間の見方を哀れんでいるかもしれません。皆さんも、上の絵を子どもに見せて、どちらが正しいか言い争っていたらどう思うでしょうか？ですから、人に迷惑をかけるのはそれこそ勘違い甚だしいですが、勘違いをしても自分を許す、そして相手に謝る、また相手の意見や考えを相手の立場から広く見る、そして相手が間違えても許せる人間になりたいですね。必ずその方が生きやすく、人からも好かれやすくなるはずですよ。

PS.

いつかこういう心理学授業を子どもの時からできる時を願いつつ...

## 9月～10月のお知らせ

- 9月/4日・11日・25日、10月/2日・9日・16日・30日の水曜8時～18時内に出勤予定です。



10月号は「職場における人間関係パートⅣ」についてお知らせ致します！ぜひ、ご覧ください！